

入居企業紹介

その 84

SICに入居されている企業をご紹介します。

SIC-2 204

アドバンスエレクトリックジャパン株式会社



【プロフィール】

アドバンスエレクトリックジャパン株式会社
開発部マネージャー 藤川 伸之 (ふじかわ のぶゆき) 40才
山口県生まれ 相模原市在住

登山、パノラマ写真、自転車、スキーなど様々な趣味をお持ちです。

登山は、海外の取引先の方に富士山の案内を請われたのがきっかけで趣味のひとつになったそうです。以降、富士山には取引先の方と一緒に何度も登り、海外出張時にはアルプスに登りエーデルワイスを見たこともあるそうです。

人が行っていないことをするのが好きで、今後も趣味は広がっていきそうです。

【現在の会社に入社のかっけは？】

音響装置の材料に興味を持ったことがきっかけで、大学では物質工学を専攻しました。卒業論文に選んだテーマは「プラスチック材料のオゾン水劣化」。この研究が認められ、半導体洗浄会社に入社しました。

半導体洗浄に関わるうちに、洗浄に使用するオゾン水の分量をより細かく、より正確に、そして楽に計測できるものを作りたいという思いが強まってきたそうです。その時に出会ったのがアドバンス電気工業株式会社でした。同社は半導体関連のバルブ製造会社で、要望に応じてカスタマイズなども行います。このバルブをコントロール弁とし、流量コントロールの分野に進出したいという会社の展望と、藤川さんの希望がマッチし、アドバンス電気工業株式会社の子会社であるアドバンスエレクトリックジャパン株式会社の設立と同時に入社しました。

【事業紹介】

アドバンスエレクトリックジャパン株式会社では、半導体製造装置向け流体制御システムを開発しています。

今までの半導体製造は大量生産が主流でしたが、現在は多品種少量生産となっています。同社では様々な製品を組み合わせ、お客様にとって使いやすい流体制御システムを構築していきます。



【課題となっていること、苦勞していること】

流体制御の基板等を製造するため、ソフトウェアも作るようになり、電気関係の勉強を進めています。今まで関わりの少なかった分野なので苦勞もありますが、取引先の方にも教を請いながら知識を深めているそうです。

【これからの夢または目標は？】

半導体業界以外にも視野を広げて、先々の種を探しています。だからこそ、利益を上げて、親会社にも貢献していくことが目標だそうです。

半導体業界では数年に一度大きな技術革新が起こります。「変化の時にチャンスがある。変化が起きたときにその波に乗れるようにしていきたい。一人で研究に打ち込むことが多いので、時には技術情報の交流を深めたい。」と藤川さんは語りました。

アドバンスエレクトリックジャパン株式会社

アドバンスエレクトリックジャパン株式会社
SIC-2 204
TEL:042-770-9190
URL:www.advance-e.jp



入居企業トピックス

●今月の掲載記事紹介

8・9月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲示していますので、どうぞご覧ください。

8月29日(月) **株式会社テクニカルエンジニアリングサポート**
 神奈川新聞 「社内を元気にするコミュニケーションツール」

9月1日(木) **株式会社ザック**

相模経済新聞 「ものづくりを縁の下からサポート。めざすは“ケミカルプロデューサー”」

20日(火) **Ronk ジャパン株式会社**

相模経済新聞 「日本市場向けに特化し、高品質を追求したメイドイン・チャイナ」

入居企業の皆様へご案内

10月の販売予定日 in SIC

くるまかふえ **Sky Days** <http://skydays.net>



パン・飲み物ともになくなり次第終了です。

5日(水)
12日(水)
21日(金)
28日(金)

営業時間 11:30 ~ 16:00

かわせみの家 <http://17.ocn.ne.jp/kahasemi/>



クッキーやケーキを販売します。

13日(木)

営業時間 11:00 ~ 12:00

なくなり次第終了です。

SICからのお知らせ

第5回 The HINT の開催について

SIC さがみはら産業創造センターでは、新分野進出へのヒントとなるミニセミナーと身近な個別相談として、公的支援機関を一同に集めた経営総合相談を下記の通り実施致します。

■開催日時：平成23年10月13日(木) 13時~16時30分

◆対象者：相模原市内の企業及び創業を検討している方。

■費用：無料

◆定員：20社程度(申込順)

■会場：青山学大学相模原キャンパス

◆スケジュール

13:00-14:00 青山学院大学「機器分析センター」見学会

14:00-16:30 経営総合相談会

<相談例>

1. 取引の紹介斡旋・研究開発取引マッチング
2. 中小企業融資制度
3. 技術・生産管理
4. 新規事業立ち上げ・経営革新
5. 創業・ベンチャー支援

<参加機関>(順不同・予定)

青山学院大学

(財)神奈川科学技術アカデミー

(財)相模原市産業振興財団

(財)神奈川産業振興センター・日本政策金融公庫

神奈川県信用保証協会・神奈川県産業技術センター

さがみはら表面技術研究所

(株)さがみはら産業創造センター

■お申込み：ホームページ・電話・FAXのいずれかでお申込み下さい。チラシはHPからダウンロード頂けます。

◆応募締切：平成23年10月7日(金)

■お問合せ：SIC さがみはら産業創造センター

担当：飯山(内線1100)

Tel 042-770-9119 Fax 042-770-9077

2011年10月

【今月の経営スケジュール(3月期決算の会社参考)】

経理：9月源泉税・地方税納付、給与計算・試算表作成

社会保険・労働保険：新標準報酬月額による保険料を10月分の給料から控除



「かわせみの家」さん出店日



「Sky days」さん出店日

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1 経営塾
2 津久井森林体験教室	3 会議室12月分 予約受付開始 *SIC-1 エレベーター点検	4	5 ☺	6 海外進出支援 フォーラム SIC-1 自動ドア保守点検	7	8
9	10 体育の日	11	12 ☺	13 リーダー塾 The HINT 第5回 見にミニセミナー	14	15
16	17	18	19	20	21 ☺	22 経営塾
23 30	24 31	25 SIC-2 共用部床面清掃	26	27	28 ☺	29

*エレベーター点検 9:30~10:30の間はご利用になれません。 お問い合わせは 生井(内線1116)まで

SICのWEBサイトでもご覧頂けます。

SICのヒマラヤ杉。台風で倒れる。

去る9月21日 台風15号が、首都圏を直撃した。非常に激しい雨、強い風がSICの建物に吹き付ける。いたるところで、電車が止まった。停電となる地域も数多くあった。物流が麻痺した。首都圏サラリーマンの帰宅の足が奪われ、混乱を極めた。そんな混乱の中で、SICのヒマラヤ杉が倒れた。午後6時頃だったようだ。この杉は、SICが出来る前からこの場所に存在していた。SICのシンボルでもあった。ここ西橋本の再開発された地域は、旧国鉄の橋本車両センターという施設だった。戦前、自動車関連の工場として発足。1945年(昭和20年)、橋本自動車工機部として国鉄の中に組み込まれた。1973年(昭和48年)には、橋本車両センターに改称。主にディーゼル車両のエンジンの分解整備を行っていた。その工場の正門に立っていた。約65年の歴史を刻んでいた。まさか、この木が倒れてしまうとは・・・。

目撃情報によれば、いきなり倒れたのではなく、徐々に傾きながら最後は横倒しになったとのこと。周りの状況から推察すると最後の衝撃は、かなり強そうだ。駐輪場にあった自転車13台が下敷きになった。但し、人の怪我と車の被害は無かった。被害にあった自転車所有者の方には大変申し訳ないのですが、不幸中の幸いであった。もし、倒れた方向が道路側であったら・・・。

倒れた木を近くから観察すると思ったより高く、大きかった。木の頂上に近いところには、カラスの巣らしきものが2つ。針金ハンガーが多数集められ上手に作られていた。もうひとつ、特徴的だったのは、樹木の大きさに比較して、「根」が小さいこと。広葉樹に比べて、針葉樹は根の張り方が少ないようだが、それにしても根が少ない。土との関係性が弱い。だから、強い風に耐えられなかったのだろう。

今年は、東日本大震災以外でも、台風、雨による水害などが各地で数多く起こっている。想定を超えることが多いように感じる。ビジネス環境は激動だが、自然環境も激動の時代なのだろうか。いつも「大変な時代」になってしまったのだろうか。こんな時代を乗り切るには、「失敗から学ぶ」「BCP」など「想定外」に準備する努力、工夫も求められる。そして、「基本」「基礎」「基盤」などの言葉が、ここでのヒントになる。台風の強い風雨、そのほかの天災に対して、耐えられる樹木は、「根」と「土壌」がしっかりしていることが最初の条件ではないだろうか。言葉を変えると「土壌」と「根の張り方」だ。「土壌」が肥えていれば「根」が育ち、樹木が成長する。「根」が強ければ、風にも、雨にも、日照りにも、強くなる。「土壌」と「根」を大切にしているとき期待する果実が出来る。

表出している成果には、そこに至るプロセスある。結果には、原因がある。反面、見かけは、立派でも「土壌」が枯れ、「根」が弱くなると樹木は倒れてしまう。企業経営にも通じることではないだろうか。



倒木した様子



2008年撮影

私の好きな漢字

【 アムコテクノロジー株式会社 松崎 博子 さん 】

このコラムでは、SIC入居企業スタッフの皆様を紹介してまいります。今月号ではSIC-2 501号室に入居されている、アムコテクノロジー株式会社の松崎さんにインタビューしました。

アムコテクノロジー(株)は、ホルムアルデヒド吸着分解材の研究・開発や、上場企業への販売を行っている会社です。松崎さんは事務を担当されていて、材料手配や注文入力、電話対応など様々な役割を果たしていらっしゃいます。

好きな漢字は『絆』。

家族や親族、友人との絆という言葉を大切にし、日々過ごしていらっしゃるそうです。

仲の良い家族で、夏休みの休暇に旅行することはもちろん、日常の買い物なども家族揃って出かけるそうです。また、夕食もどんな時間になっても毎日一緒に食べているそうです。

学生時代からのご友人とも長くお付き合いを続けていて、「今でもたびたび集まり、楽しい時間を過ごしています。」とのこと。

仲の良い家族になる秘訣を伺ったところ、「自然にそうなっちゃったのよね」と明るく笑っていた松崎さん。オンもオフも明るく笑顔で過ごしていることこそが、その秘訣ではないかと感じました。



下の2枚の写真は、松崎さんが撮影したものです。

夏の家族旅行で、大阪にお笑いを見に行ったそうです。



証言で綴る SIC の歴史

SIC の誕生に関わった方達の証言をもとに、SIC の歴史を振り返ります。

有限会社 GMP創房
取締役 前田 圭一郎

— 第 1 回（2 回連続でご紹介してまいります） —

筆者は、10 年以上にわたりビジネス・インキュベーション（以降 B I と称す）事業に係ってきました。S I C-1 の構想・事業計画の策定支援や S I C-1 の設計者選定プロポーザルでの審査員として係った 1998 年～2000 年頃の記憶を掘り起こしながら、S I C の事業としての当時の特徴や係った人たちの素描によって証言とします。過去、現在の関係者だけでなく多くの方の S I C へのさらなる理解の一助となれば幸いです。

■ S I C-1 は画期的&先駆的事业

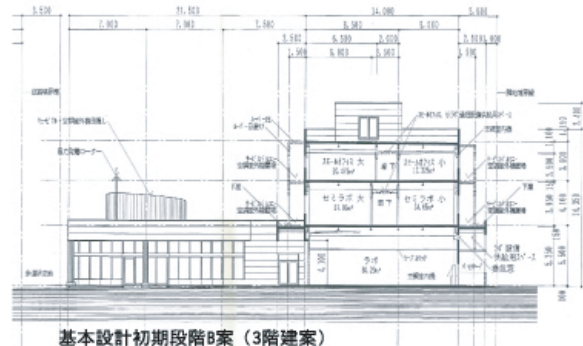
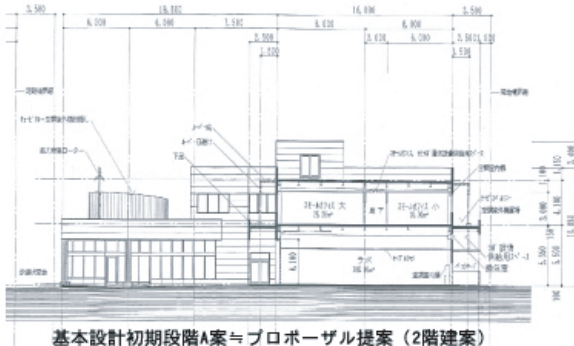
S I C-1 は、1980 年代後半の大規模な B I 事業＝大手民間企業等の出資を源とした K S P（神奈川サイエンスパーク／神奈川県、川崎市の出資も含む）や K R P（京都リサーチパーク）に代表される民間主導型

の B I 事業や自治体主導・主体による B I 事業とは異なり、地場企業や地場有志等と自治体が協働した地域密着型かつ小規模の B I 事業の展開という観点から、当時は画期的&先駆的なものでした（筆者は、現在も画期的であると思っています）。

B I 業界では、前述の K S P、K R P、そして S I C が 3 大ブランド（3 事業とも株式会社方式）と言われることが多いのですが、S I C は、その成り立ちも含め先行他 2 事業と比較した場合に、単に事業規模の違いではなく、質的に全く異なるもの＝『同業異業態』と考えるのが妥当でしょう。

その後、厳しい経済環境に起因するのか、K S P、K R P のような大資本型の B I 事業の出現はなく、小規模の類似事業、施設が全国にできていますが、そのなかでリスクが高いと言われる B I 事業において、S I C-2、S I C-3 と事業拡大し、安定的な事業継続をしている S I C モデルは高く評価されるべきでしょう。S I C への見学者の多さはその証左と言えるのではないのでしょうか。

（つづく）



（有）創夢設計 提供

SIC のおすすめ Shop レポート

きこりのお店

あおねそうもくかん
青根草木館

今回は SIC からちょっと離れたところにある「青根草木館（あおねそうもくかん）」をご紹介します。

「青根草木館」は林業会社である(有)サトウ草木が社長の故郷である青根の地域振興の一端になるようにとの思いを込めて今年 5 月にオープンしました。

建物は 2 階建てで 90% が地元の木材を使用しています。中に入ると木の香りに包まれて、まさに「きこりのお店」を五感で感じることができます。

喫茶エリアでは草木館オリジナルブレンドコーヒーや軽食のほかに、青根のおいなり（地元青根にある天野豆腐店の美味しい油揚げを使用）、たまごかけご飯（津久井産有機たまご付き）など地場の食材を使ったメニューもあります。

店内では喫茶・軽食の他に地元のお土産や採れたての野菜、手づくりの木工品があり、テーブル天板用の各種木材はお値打ちで販売されています。

青根草木館の店長は SIC 地域発信プロジェクト室でがんばって頂いていた画家の油井瑞樹さん（※SIC-2 ロビーの絵画の制作者。かわら版入居版 86 号（2011 年 6 月）に掲載）です。8 月下旬から店長として業務にあたっています。

これから紅葉の季節に向かってこの地域は鮮やかな景観に包まれます。相模原から山中湖へ続く道志道沿いにある「青根草木館」、皆様も是非一度お立ち寄りください。



青根草木館にて「SIC かわら版を見ました」と言って頂ければブレンドコーヒーを 200 円（通常 350 円、お一人様 1 杯限り）の特別価格と致します。
※平成 23 年 10 月 31 日まで

■営業時間 10:00～18:00 ■定休日 毎週火曜・第 3 月曜※時期によって営業日・時間を変更することがあります。 ■URL <http://soumokukan.com/>

編集後記

お彼岸も過ぎ、日の暮れがとて早くなりました。金木犀の香りが澄んだ空気に混じり、深まる秋を感じる今日この頃です。「秋といえば・・・」皆様はどんな秋を思い浮かべるでしょうか？スポーツ、読書、食欲 etc. 夏の暑さで思うように動けなかった分、したいことが広がります。朝晩寒いくらいの日も増えてきました。お体にはどうぞお気をつけ下さい。

三露

★ご意見・ご感想をお待ちしています。（株）さがみはら産業創造センター（SIC）〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21
電話：042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ：<http://www.sic-sagamihara.jp> E-mail: koho@sic-sagamihara.jp